

令和8年度 サイエンスリーダーズ育成事業運営業務委託 仕様書

1 委託業務の名称

サイエンスリーダーズ育成事業運営業務

2 委託業務の目的

県立つくばサイエンス高等学校において、小中学生対象に、専門家等による課題解決型の探究プログラム等を展開するサイエンスリーダーズ育成事業を実施することで、研究者、技術者等を志す科学系人材となる児童生徒の育成を図る。また、同校の生徒および県内教職員が運営メンターとして参画することで、県立つくばサイエンス高等学校の魅力化を推進する。

3 委託期間

契約を締結した日から令和9年3月12日まで

4 対象者

茨城県内の小学4年生～中学3年生の希望する児童生徒及び小学校、中学校の教員

5 会場

県立つくばサイエンス高等学校

6 業務内容

対象の児童生徒の科学への興味関心を高め、児童生徒が取り組む実験教室や探究プログラムに対して伴走・支援を行うサイエンスリーダーズ育成事業を次のとおり、実施する。

(1) ネクストサイエンスリーダーズ（仮称）（1日完結型の探究プログラム・発表会等）

児童生徒（最大25名程度）が専門家の指導のもと「研究者のように探究する」体験を通じ、科学への深い興味関心を抱けるよう、1日完結型の探究プログラムおよび発表会（4日間）を企画・運営する。内容については、委託事業者と県教委、会場校職員と相談の上、決定する。

(2) 県立つくばサイエンス高等学校の魅力化推進（実験教室の支援等）

児童生徒（最大25名程度）が科学への関心を高め、研究を志すきっかけとなるような実験教室やワークショップ等のイベントの支援等を行う。実施にあたっては、県立つくばサイエンス高等学校の施設、設備、人材（つくばサイエンス高の生徒含む）等を活用して実施することで、参加者等に対して、県立つくばサイエンス高等学校の魅力を発信する。

7 委託業務の実施方法

(1) ネクストサイエンスリーダーズ（仮称）（1日完結型の探究プログラム・発表会等）

ア 実施時期は、7月～9月のうち4日間程度（午前9時～午後4時頃）とし、会場校と調整の上、決定すること。

イ 探究プログラム全体のテーマを設定し、探究の過程（課題の設定、情報の収集、整理・分析、表現・まとめ）を1日で体験できる探究プログラムを実施するとともに、その感想やふりかえりを発表する発表会を実施する。

ウ 実施にあたっては、専門家（大学教員、研究者、技術者等）を各回1名ずつ計4名を講師として招聘するとともに、大学院生等複数名をメンターとして採用することで、参加者の探究活動を適切に指導・支援できる体制を構築すること。

エ つくばサイエンス高校の生徒がメンターおよび運営スタッフとして参画し、小中学生との交流を促進する。

オ 実施にあたっては、会場校と調整の上、実施内容を検討する機会を複数回設け、事前に共通理解を得ること。また、実施にあたって必要となる物品、広報物、通信機器、児童生徒の保険等については、会場校と調整の上、必要に応じて受託者が委託料の範囲内において準備するものとする。また、児童生徒の保険についても検討する。

(2) 県立つくばサイエンス高等学校の魅力化推進（実験教室の支援等）

- ア 児童生徒（最大25名程度）が科学への関心を高め、研究を志すきっかけとなるような実験教室やワークショップ等のイベントについて助言・支援等を行う。
- イ つくばサイエンス高校の生徒がメンターおよび運営スタッフとして参画し、小中学生との交流を促進する。
- ウ 実施にあたって必要となる物品、広報物、児童生徒の保険等については、会場校と調整の上、必要に応じて受託者が委託料の範囲内において準備するものとする。
- エ 実験教室への参加を通して、探究プログラムへの参加を広く周知する。

(3) 受講者へのアンケート

受講者の満足度の把握および今後へのフィードバックを目的にアンケートを実施し、結果を取りまとめる。

(4) 委託業務の運営

- ア 委託者又は会場校と受託者との打合せ等の連絡・調整業務を随時行うこと。また、委託者からは是正の要求があったときは、速やかに誠意をもって対応すること。
- イ 委託者は、委託業務の実施に支障がある場合、受託者に対して是正を要求することができる。
- ウ 本事業の名称等については、会場校職員との打ち合わせの上、決定すること。
- エ 広報物（チラシ、ホームページ、SNSの活用等）の作成については、会場校と協議の上、共同で実施する。
- オ 本事業の推進において、会場校が必要とする物品や消耗品が発生した場合、会場校からの依頼に基づき、受託者が業者を通じて当該物品や消耗品を発注・納品するものとする。
- カ 講師謝金および交通費については、県の規定に準じた額とすること。
- キ 受託者は、委託業務終了後、令和9年3月12日までに令和8年度サイエンスリーダーズ育成事業運営業務に係る実施状況報告書(任意様式)を作成し、PDF形式で委託者に提出すること。
- ク 上記に掲げた業務のほか、委託者と受託者が合意した業務を適切に行うこと。

8 協議

本仕様に記載されている事項及び記載されていない事項について疑義が生じた場合、委託者と協議の上で決定するものとする。

<本事業の全体イメージ>

今年度の全体テーマを【宇宙】にした場合の例

※探究の過程(課題の設定、情報の収集、整理・分析、表現・まとめ)を1日で体験できる探究プログラム

時期	日程(案)	探究プログラム	内容(案)	講師
7月下旬	7/25(土)	第1回	【物理分野】遠くまでロケットを飛ばすにはどうしたよいだろうか。	研究者
8月上旬	8/11(火) 山の日	第2回	【化学分野】芳香族化合物はどのように合成できるのだろうか。 どのような食べ物が宇宙食に適しているのだろうか。	大学教授
8月下旬	8/23(日)	第3回	【最新技術分野】3Dプリンタで未来の宇宙都市をつくろう。	大学教授
9月上旬	9/5(土)	第4回	【STEAM分野】雨つぶアートをを用いた「色の三原色」で宇宙を表現 ※修了証の授与・感想文の発表等	技術者

※会場校が通年で実施する実験教室については、必要に応じて個別に支援・助言を行う。

<本業務の実施フロー図(イメージ)>

